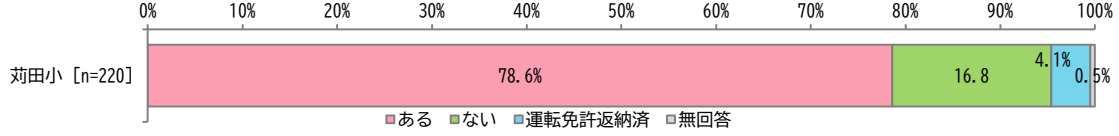
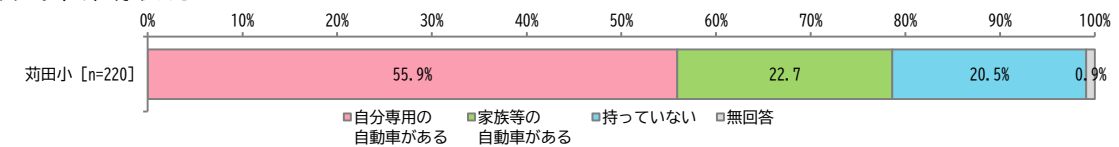
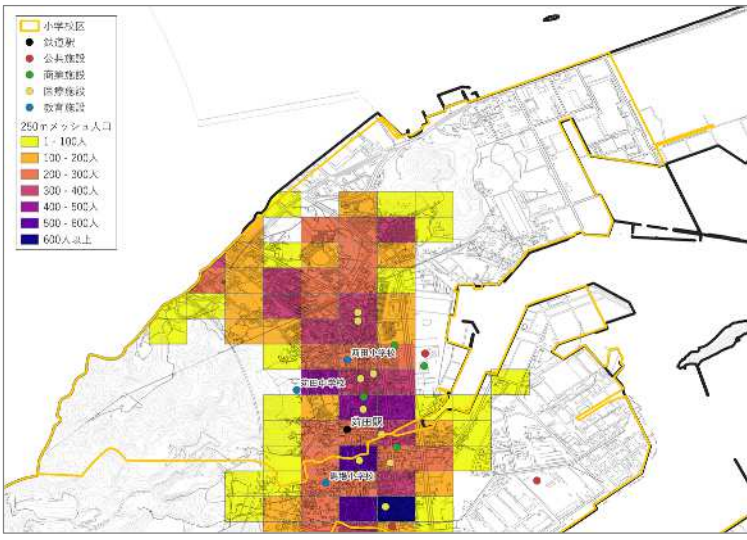
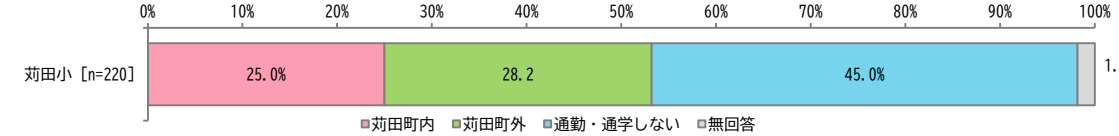
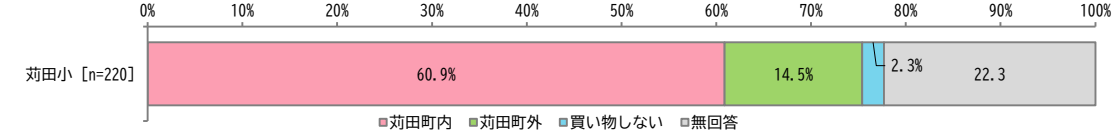
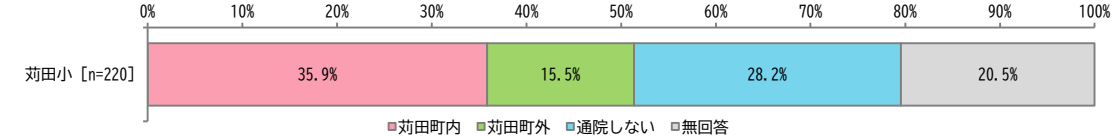
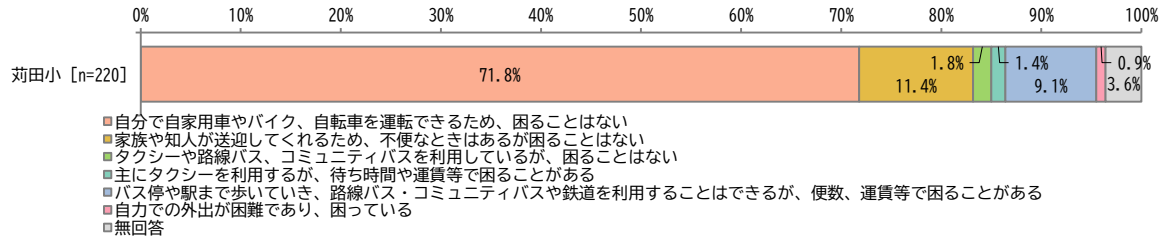
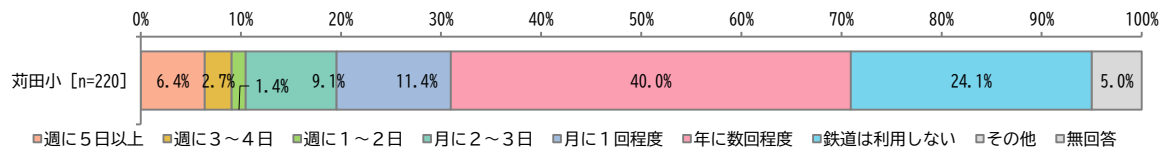
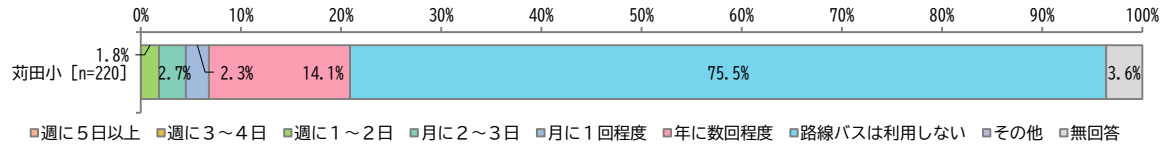
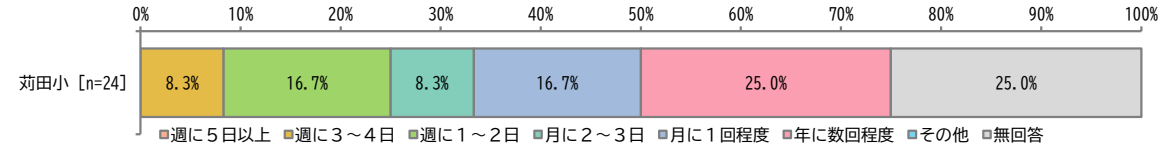
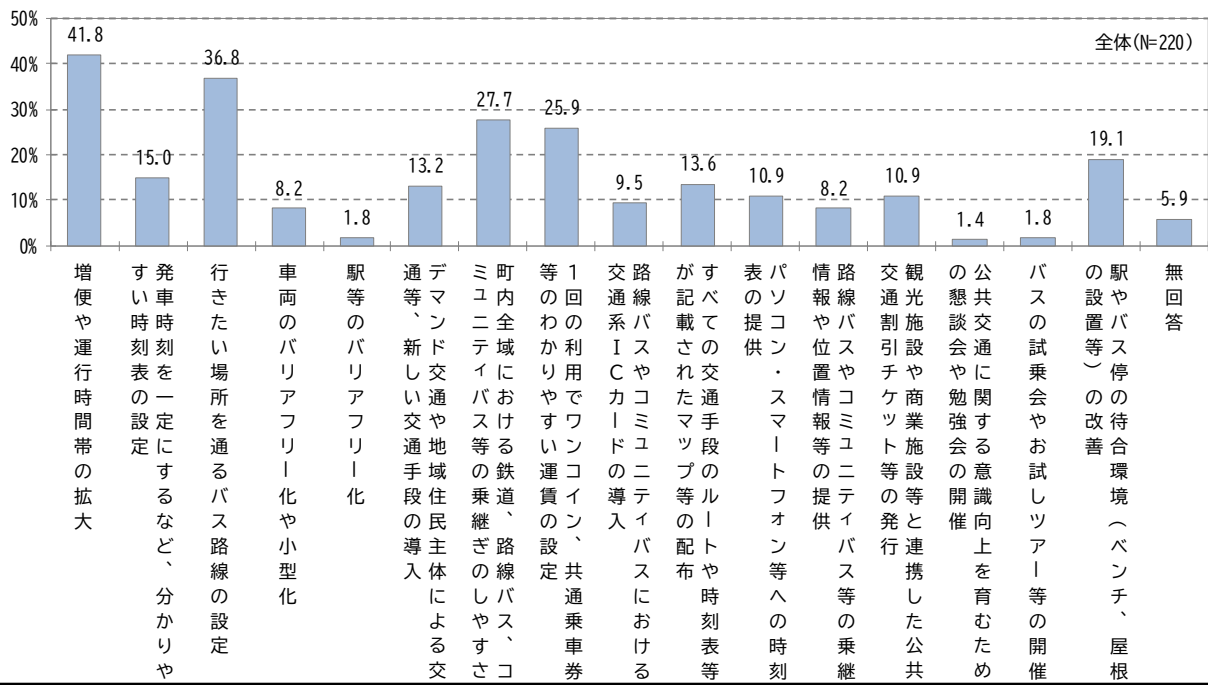
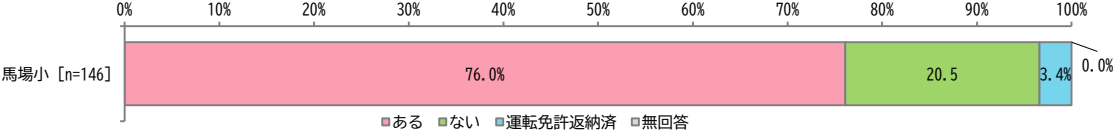
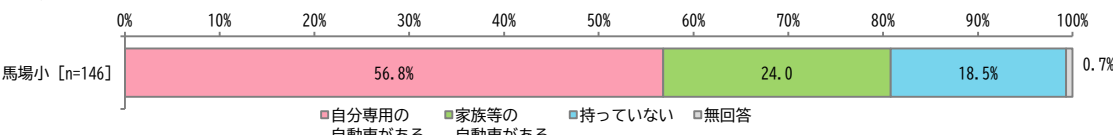
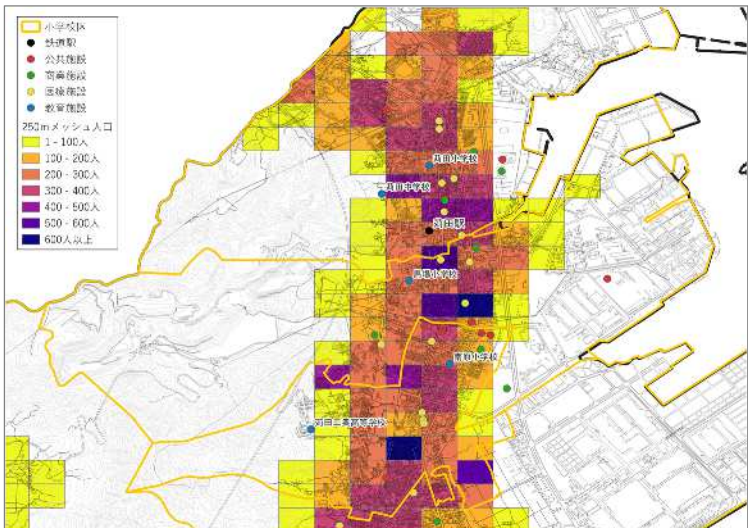
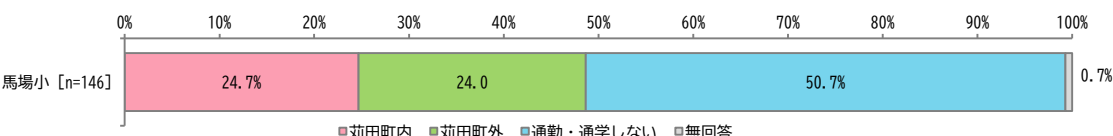
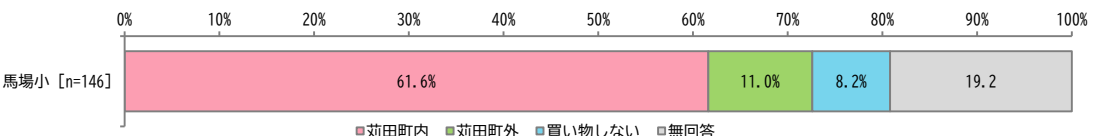
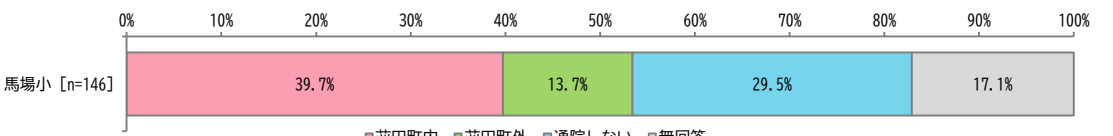


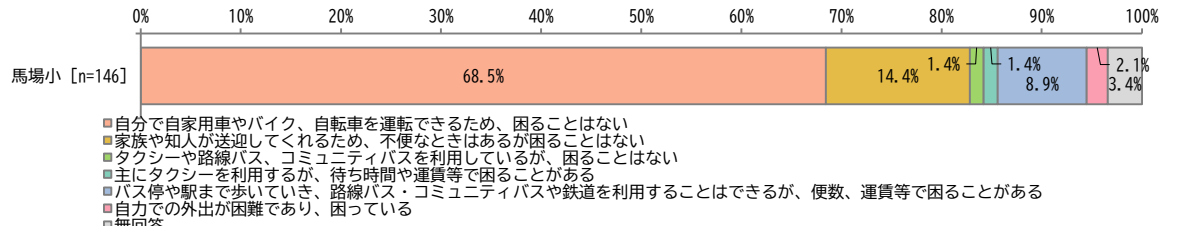
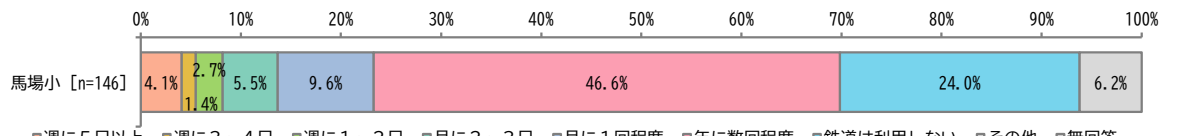
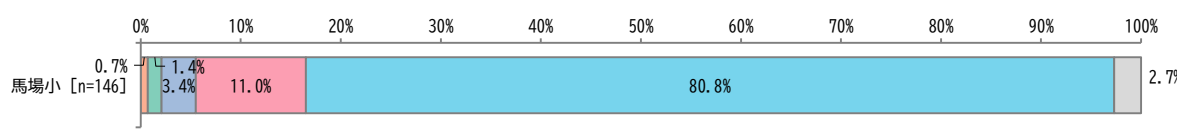
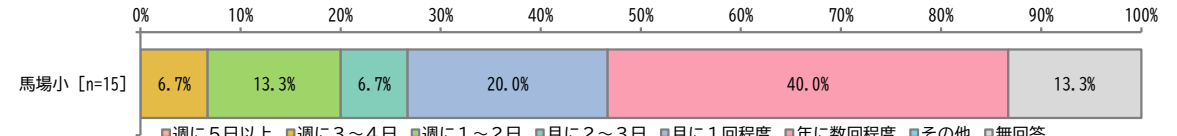
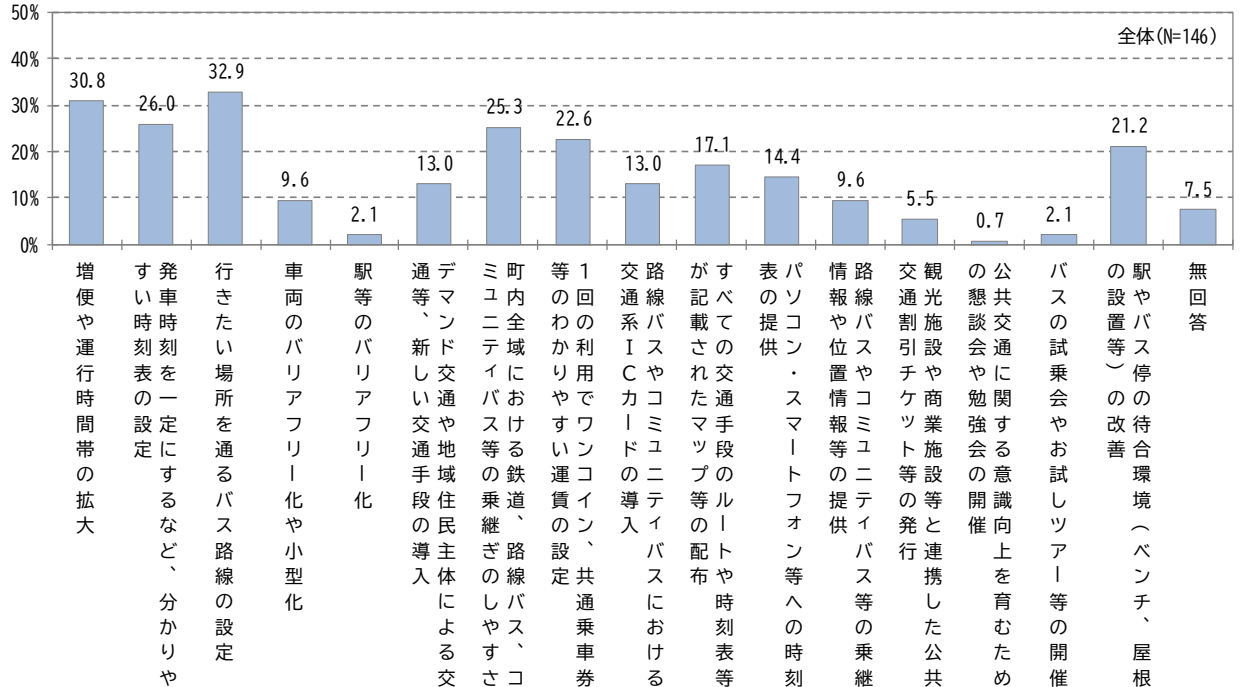
公共交通に関する地区別カルテ 苅田小学校区

地区概況	<p>○地区人口 10,440 人で総人口の 27.7%を占める。</p> <p>○高齢化率は 24.3%となっている。</p> <p>○自動車運転免許証保有率は、78.6%であり、運転免許証返納済は 4.1%である。</p> <p>○自家用車所有率は 78.6%（自分専用 55.9%）であり、自家用車を持っていない方は 20.5%である。</p> <p>■自動車運転免許証保有状況</p>  <p>■自動車保有状況</p>  <p>○商業施設 ASO スーパー 苅田店、トライアル 苅田店、ホームプラザナフコ 苅田店</p> <p>○医療施設 いのうえ内科クリニック、あまの耳鼻咽喉科医院、桑原医院、重見医院、たじり小児科たじり消化器・肝臓内科クリニック</p> <p>○公共施設 総合保健福祉センター（パンジープラザ）、北公民館</p> <p>○教育施設 苅田小学校、苅田中学校</p> 
主な都市機能立地状況	
公共交通	<p>○JR 日豊本線（苅田駅） ○高速バス（行橋～福岡線） ○路線バス（行橋～下曽根線、朽網線）</p> <p>○コミュニティバス（北部ルート、中央ルート、白川ルート、与原・小波瀬ルート）</p>
通勤・通学 買い物 通院 の行き先	<p>○「通勤・通学」は、苅田町内が 25.0%、苅田町外が 28.2%となっている。</p>  <p>○「買い物」は、苅田町内が 60.9%、苅田町外が 14.5%となっている。</p>  <p>○「通院」は、苅田町内が 35.9%、苅田町外が 15.5%となっている。</p> 

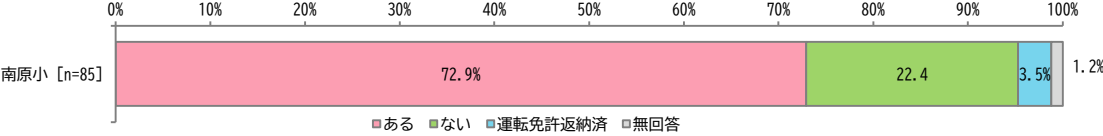
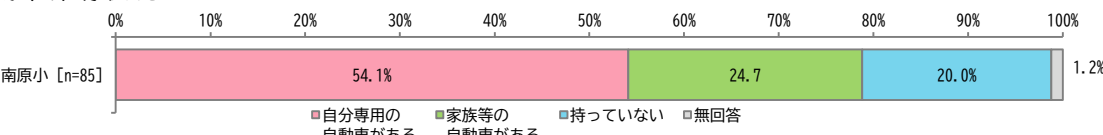
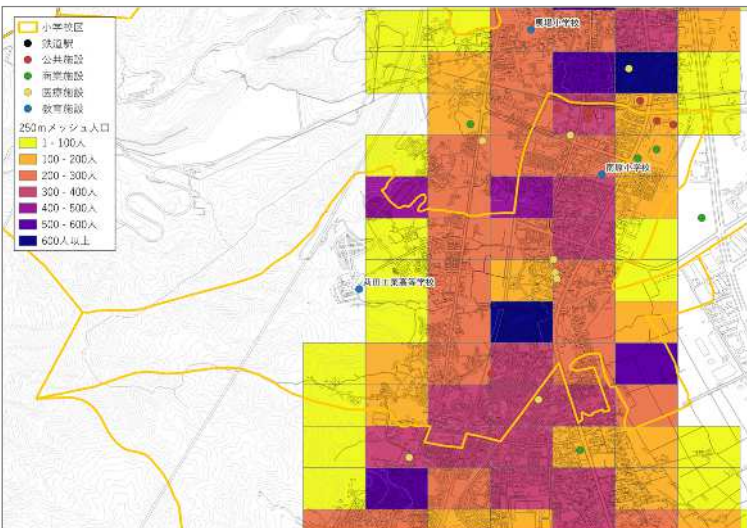
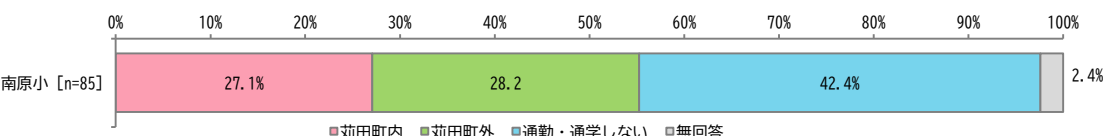
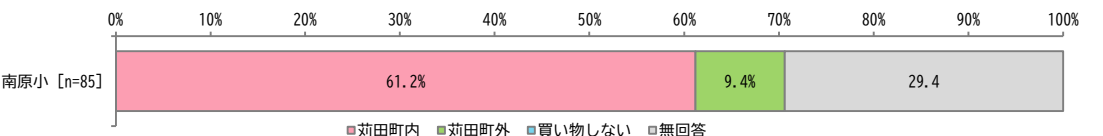
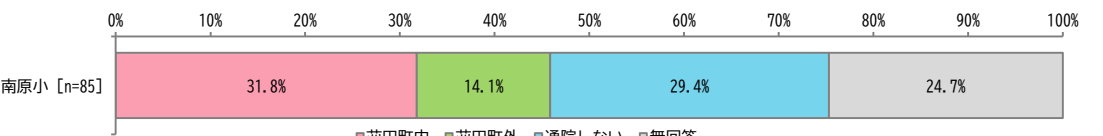
外出の際の困りごと	 <p>■自分で自家用車やバイク、自転車を運転できるため、困ることはない ■家族や知人が送迎してくれるため、不便なときはあるが困ることはない ■タクシーや路線バス、コミュニティバスを利用しているが、困ることはない ■主にタクシーを利用するが、待ち時間や運賃等で困ることがある ■バス停や駅まで歩いていき、路線バス・コミュニティバスや鉄道を利用することはできるが、便数、運賃等で困ることがある ■自力での外出が困難であり、困っている ■無回答</p>
鉄道の利用状況	<p>○週に 1 日以上利用するは、10.5%であり、年に数回程度は、40.0%、利用しないは 24.1%である。</p> 
路線バスの利用状況	<p>○週に 1 日以上利用するは、1.8%であり、年に数回程度は、14.1%、利用しないは 75.5%である。</p> 
コミュニティバスの利用状況	<p>○利用しないは 82.7%であり、利用すると回答した中では、週に 1 日以上利用するは、25.0%であり、年に数回程度は、25.0%である。</p> 
効果的な利用促進策	<p>○「増便や運行時間帯の拡大」「行きたい場所を通るバス路線の設定」「町内全域における鉄道、路線バス、コミュニティバス等の乗継ぎのしやすさ」「1 回の利用でワンコイン、共通乗車券等のわかりやすい運賃の設定」が多く挙げられている。</p> 

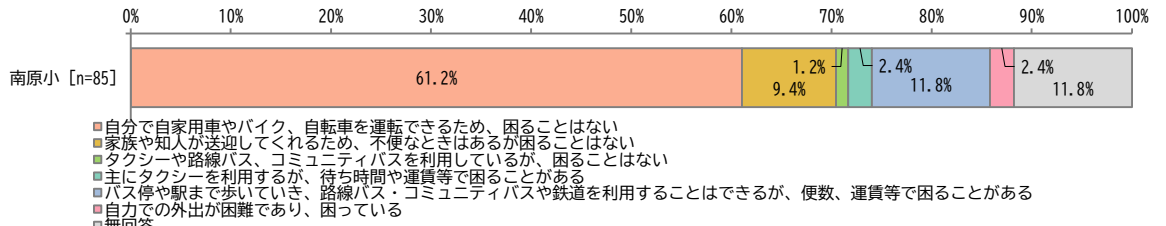
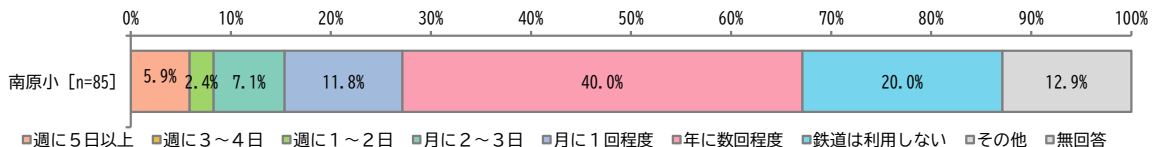
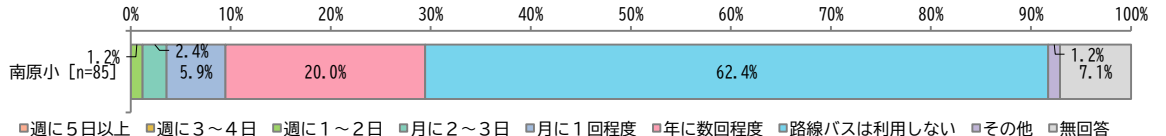
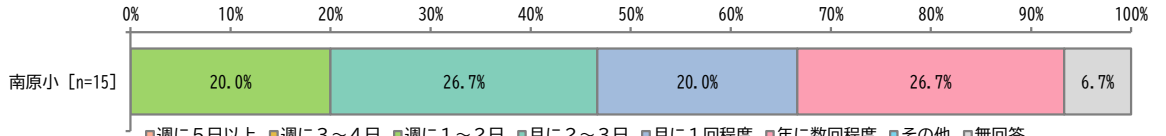
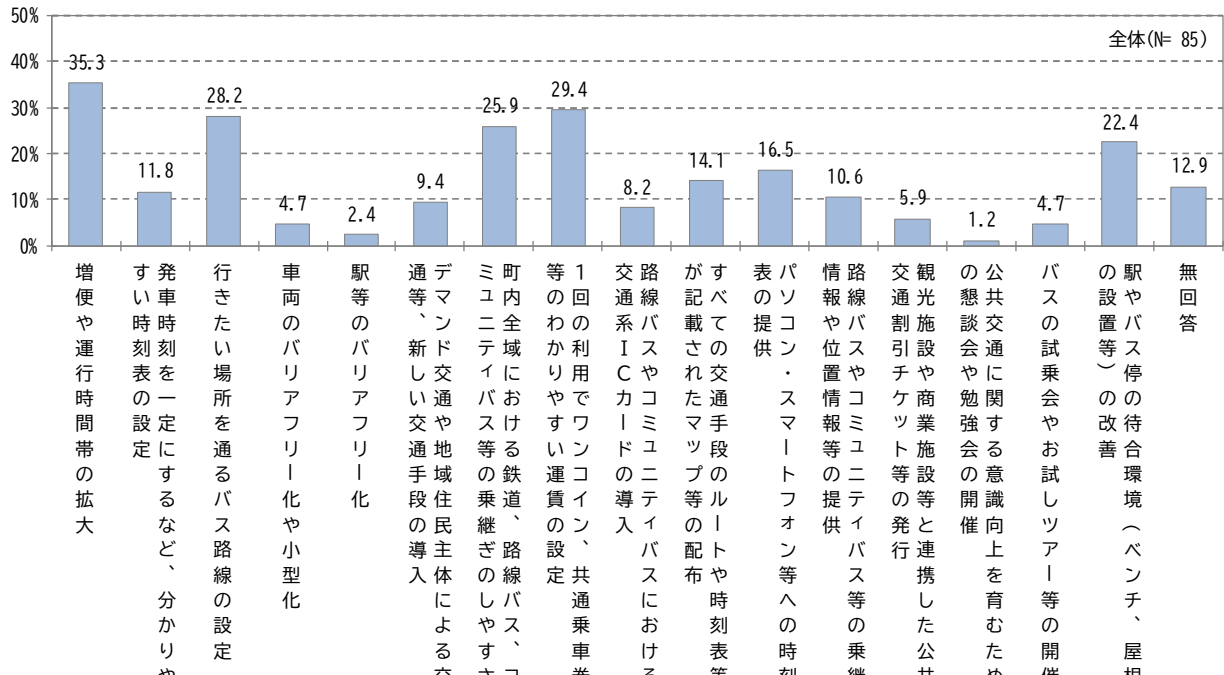
公共交通に関する地区別カルテ 馬場小学校区

地区概況	<p>○地区人口 9,039 人で総人口の 24.0%を占める。</p> <p>○高齢化率は 23.4%となっている。</p> <p>○自動車運転免許証保有率は、76.0%であり、運転免許証返納済は 3.4%である。</p> <p>○自家用車所有率は 80.8%（自分専用 56.8%）であり、自家用車を持っていない方は 18.5%である。</p> <p>■自動車運転免許証保有状況</p>  <p>■自動車保有状況</p> 
主な都市機能立地状況	<p>○商業施設 ラ・ムー荻田店、ディスカウントドラッグコスモス荻田店、ディスカウントドラッグコスモス南原店</p> <p>○医療施設 谷クリニック、村尾医院、健和会京町病院、なかむらクリニック</p> <p>○公共施設 中央公民館、臨海総合グラウンド</p> <p>○教育施設 馬場小学校</p> 
公共交通	<p>○路線バス（行橋～下曾根線）</p> <p>○コミュニティバス（北部ルート、中央ルート、白川ルート、与原・小波瀬ルート）</p>
通勤・通学 買い物 通院 の行き先	<p>○「通勤・通学」は、荻田町内が 24.7%、荻田町外が 24.0%となっている。</p>  <p>○「買い物」は、荻田町内が 61.6%、荻田町外が 11.0%となっている。</p>  <p>○「通院」は、荻田町内が 39.7%、荻田町外が 13.7%となっている。</p> 

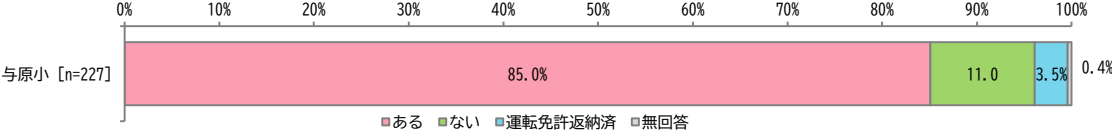
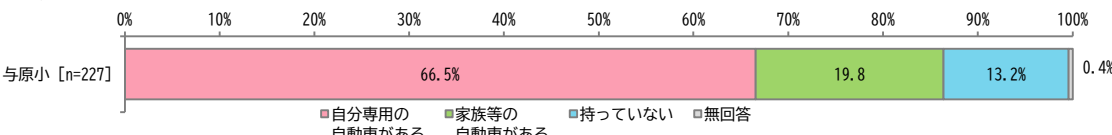
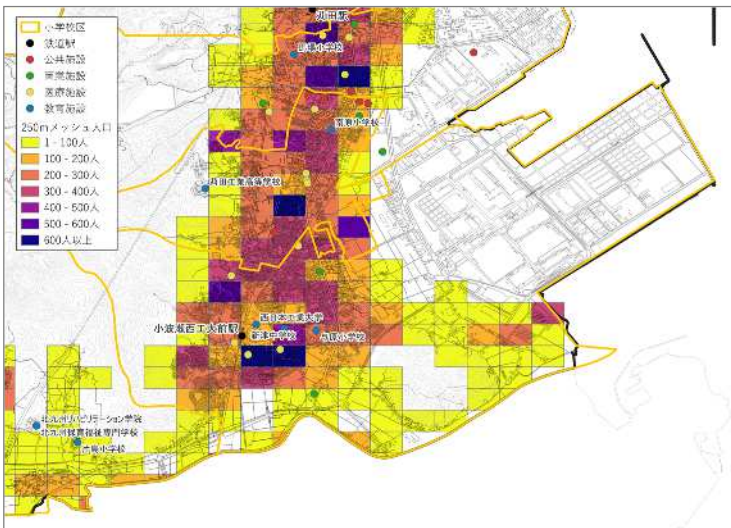
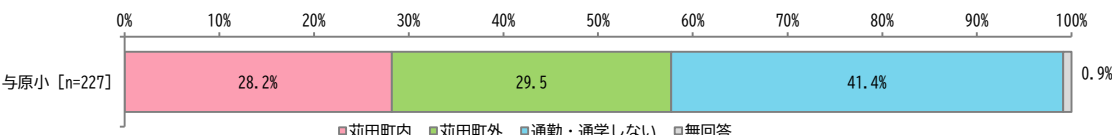
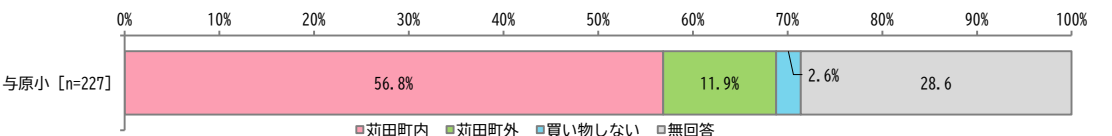
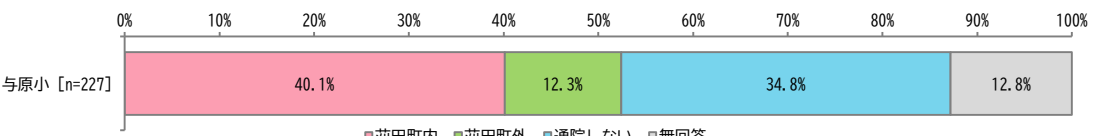
外出の際の困りごと	
鉄道の利用状況	<p>○週に 1 日以上利用するは、8.2%であり、年に数回程度は、46.6%、利用しないは 24.0%である。</p> 
路線バスの利用状況	<p>○週に 1 日以上利用するは、0.7%であり、年に数回程度は、11.0%、利用しないは 80.8%である。</p> 
コミュニティバスの利用状況	<p>○利用しないは 86.3%であり、利用すると回答した中では、週に 1 日以上利用するは、20.0%であり、年に数回程度は、40.0%である。</p> 
効果的な利用促進策	<p>○「行きたい場所を通るバス路線の設定」「増便や運行時間帯の拡大」「発車時刻を一定にするなど、分かりやすい時刻表の設定」「町内全域における鉄道、路線バス、コミュニティバス等の乗継ぎのしやすさ」が多く挙げられている。</p> 

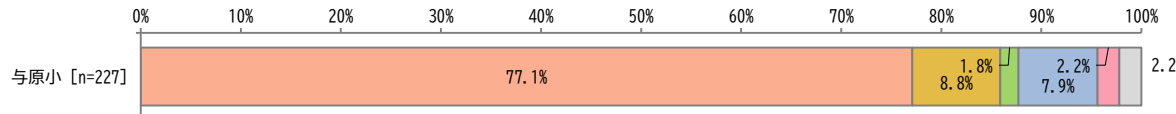
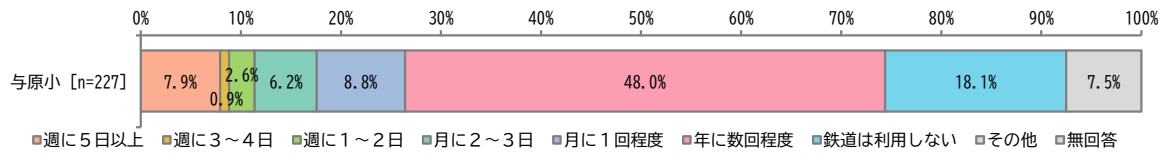
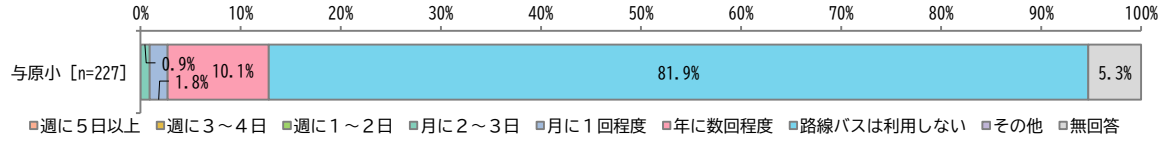
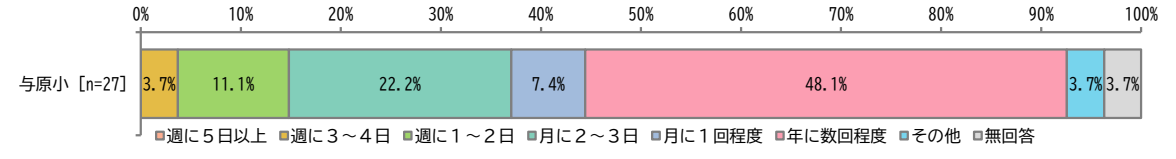
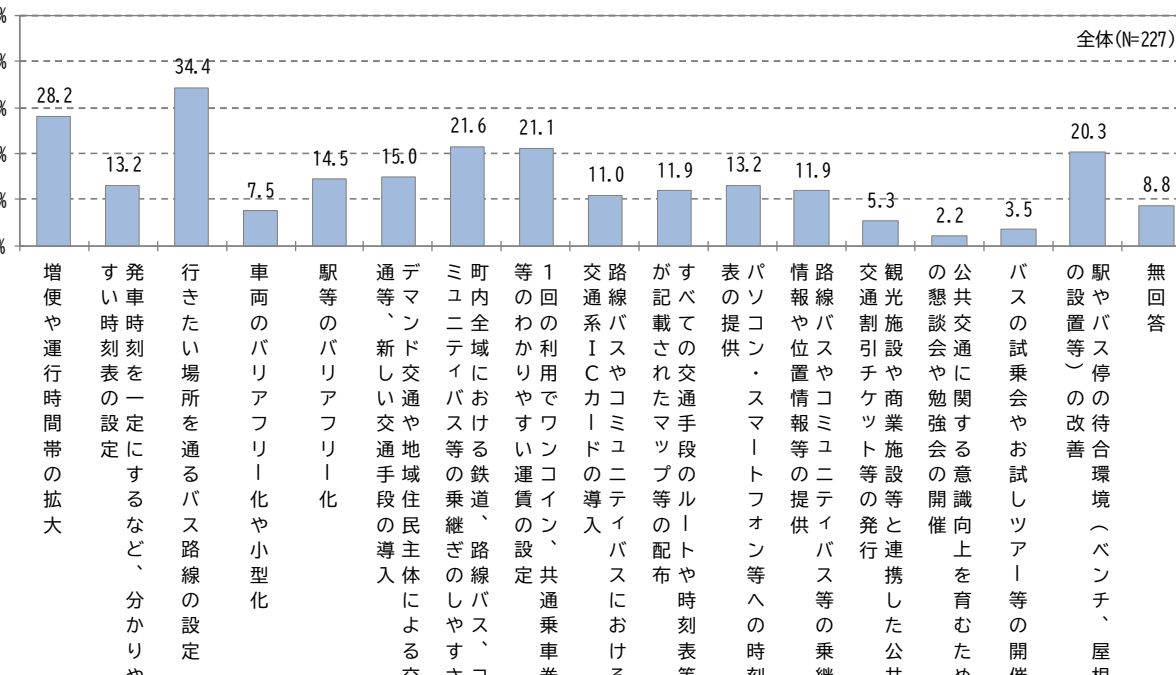
公共交通に関する地区別カルテ 南原小学校区

地区概況	<p>○地区人口 4,000 人で総人口の 10.6%を占める。</p> <p>○高齢化率は 21.4%となっている。</p> <p>○自動車運転免許証保有率は、72.9%であり、運転免許証返納済は 3.5%である。</p> <p>○自家用車所有率は 78.8%（自分専用 54.1%）であり、自家用車を持っていない方は 20.0%である。</p> <p>■自動車運転免許証保有状況</p>  <p>■自動車保有状況</p> 
主な都市機能立地状況	<p>○商業施設 サンリブ苅田、ドラッグイレブン苅田店</p> <p>○医療施設 いけだクリニック、かざまクリニック、ひろかわ皮膚科クリニック、田添医院</p> <p>○公共施設 総合福祉会館、苅田町立図書館、三原文化会館、歴史資料館、総合体育館、町民温水プール</p> <p>○教育施設 南原小学校、苅田工業高等学校</p> 
公共交通	<p>○路線バス（行橋～下曽根線）</p> <p>○コミュニティバス（北部ルート、中央ルート、白川ルート、与原・小波瀬ルート）</p>
通勤・通学 買い物 通院 の行き先	<p>○「通勤・通学」は、苅田町内が 27.1%、苅田町外が 28.2%となっている。</p>  <p>○「買い物」は、苅田町内が 61.2%、苅田町外が 9.4%となっている。</p>  <p>○「通院」は、苅田町内が 31.8%、苅田町外が 14.1%となっている。</p> 

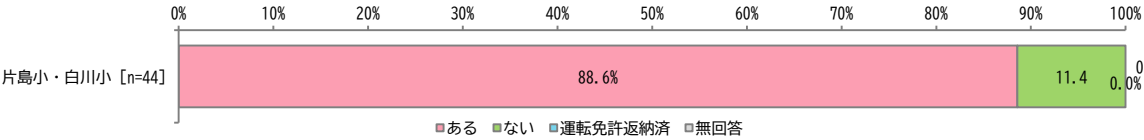
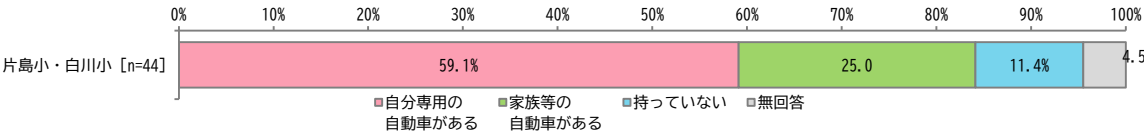
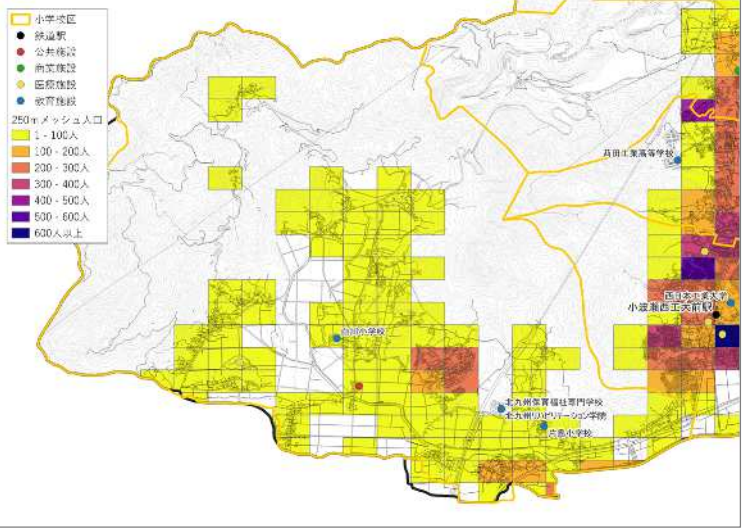
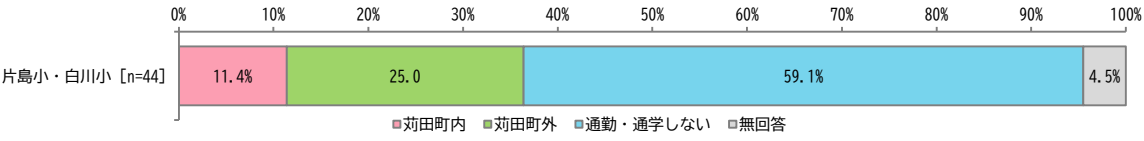
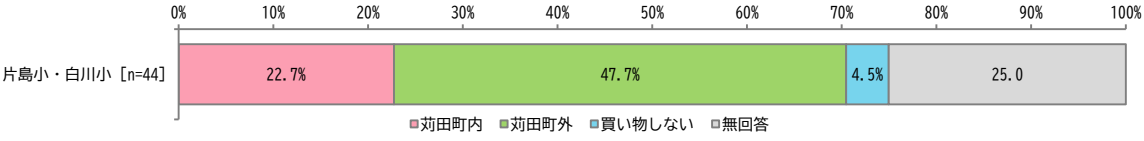
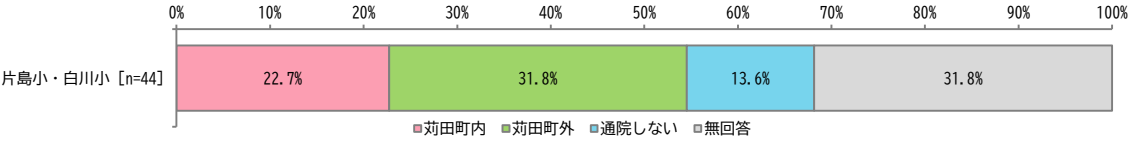
外出の際の困りごと	
鉄道の利用状況	<p>○週に 1 日以上利用するは、8.3%であり、年に数回程度は、40.0%、利用しないは 20.0%である。</p> 
路線バスの利用状況	<p>○週に 1 日以上利用するは、1.2%であり、年に数回程度は、20.0%、利用しないは 62.4%である。</p> 
コミュニティバスの利用状況	<p>○利用しないは 74.1%であり、利用すると回答した中では、週に 1 日以上利用するは、20.0%であり、年に数回程度は、26.7%である。</p> 
効果的な利用促進策	<p>○「増便や運行時間帯の拡大」「1 回の利用でワンコイン、共通乗車券等のわかりやすい運賃の設定」「行きたい場所を通るバス路線の設定」「町内全域における鉄道、路線バス、コミュニティバス等の乗継ぎのしやすさ」が多く挙げられている。</p> 

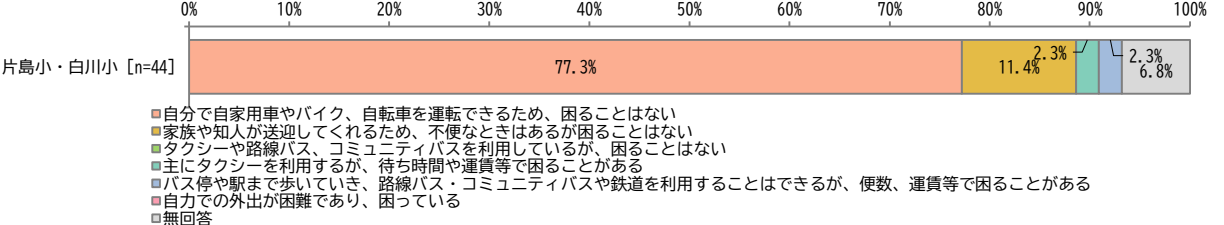
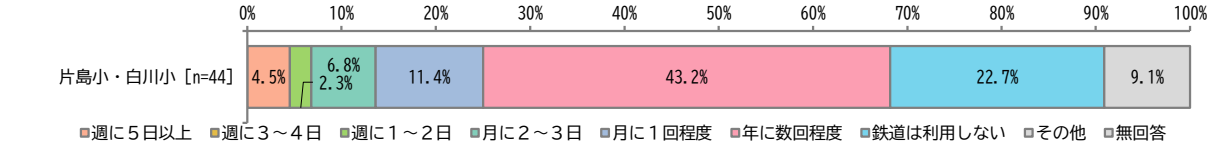
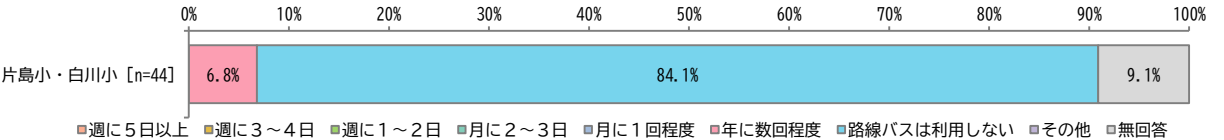
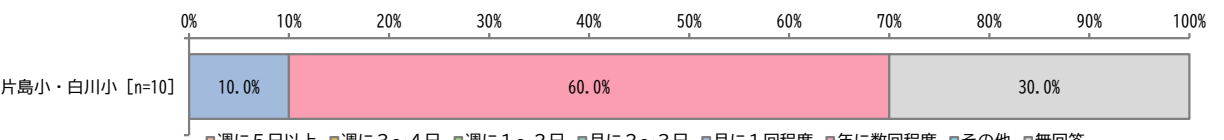
公共交通に関する地区別カルテ 与原小学校区

地区概況	<p>○地区人口 11,299 人で総人口の 30.0%を占める。</p> <p>○高齢化率は 24.8%となっている。</p> <p>○自動車運転免許証保有率は、85.0%であり、運転免許証返納済は 3.5%である。</p> <p>○自家用車所有率は 86.3%（自分専用 66.5%）であり、自家用車を持っていない方は 13.2%である。</p> <p>■自動車運転免許証保有状況</p>  <p>■自動車保有状況</p> 
主な都市機能立地状況	<p>○商業施設 ルミエール荻田店、ディスカウントドラッグコスモス与原店</p> <p>○医療施設 御所病院、小波瀬病院、原田皮フ科医院、佐々木クリニック、青木内科クリニック、土屋整形外科</p> <p>○公共施設 小波瀬コミュニティセンター</p> <p>○教育施設 与原小学校、新津中学校、西日本工業大学</p> 
公共交通	<p>○JR 日豊本線（小波瀬西工大前駅）</p> <p>○路線バス（行橋～下曽根線、行事線）</p> <p>○コミュニティバス（中央ルート、白川ルート、与原・小波瀬ルート、二崎接続線、白石・美波台接続線）</p>
通勤・通学 買い物 通院 の行き先	<p>○「通勤・通学」は、荻田町内が 28.2%、荻田町外が 29.5%となっている。</p>  <p>○「買い物」は、荻田町内が 56.8%、荻田町外が 11.9%となっている。</p>  <p>○「通院」は、荻田町内が 40.1%、荻田町外が 12.3%となっている。</p> 

外出の際の困りごと	 <p>■自分で自家用車やバイク、自転車を運転できるため、困ることはない ■家族や知人が送迎してくれるため、不便なときはあるが困ることはない ■タクシーや路線バス、コミュニティバスを利用しているが、困ることはない ■主にタクシーを利用するが、待ち時間や運賃等で困ることがある ■バス停や駅まで歩いていき、路線バス・コミュニティバスや鉄道を利用することはできるが、便数、運賃等で困ることがある ■自力での外出が困難であり、困っている ■無回答</p>
鉄道の利用状況	<p>○週に 1 日以上利用するは、11.4%であり、年に数回程度は、48.0%、利用しないは 18.1%である。</p> 
路線バスの利用状況	<p>○週に 1 日以上利用するは、0%であり、年に数回程度は、10.1%、利用しないは 81.9%である。</p> 
コミュニティバスの利用状況	<p>○利用しないは 81.9%であり、利用すると回答した中では、週に 1 日以上利用するは、14.8%であり、年に数回程度は、48.1%である。</p> 
効果的な利用促進策	<p>○「行きたい場所を通るバス路線の設定」「増便や運行時間帯の拡大」「町内全域における鉄道、路線バス、コミュニティバス等の乗継ぎのしやすさ」「1 回の利用でワンコイン、共通乗車券等のわかりやすい運賃の設定」が多く挙げられている。</p> 

公共交通に関する地区別カルテ 片島小学校区・白川小学校区

地区概況	<p>○地区人口 2,911 人で総人口の 7.7%を占める。</p> <p>○高齢化率は 38.9%となっている。</p> <p>○自動車運転免許証保有率は、88.6%であり、運転免許証返納済は 0%である。</p> <p>○自家用車所有率は 84.1%（自分専用 59.1%）であり、自家用車を持っていない方は 11.4%である。</p> <p>■自動車運転免許証保有状況</p>  <p>■自動車保有状況</p> 
主な都市機能立地状況	<p>○医療施設 荏田内科・整形外科クリニック</p> <p>○公共施設 西部公民館</p> <p>○教育施設 白川小学校、片島小学校、北九州保育福祉専門学校、北九州リハビリテーション学院</p> 
公共交通	<p>○路線バス（谷・白川線）</p> <p>○コミュニティバス（白川ルート、白川ルート接続線）</p>
通勤・通学 買い物 通院 の行き先	<p>○「通勤・通学」は、荏田町内が 11.4%、荏田町外が 25.0%となっている。</p>  <p>○「買い物」は、荏田町内が 22.7%、荏田町外が 47.7%となっている。</p>  <p>○「通院」は、荏田町内が 22.7%、荏田町外が 31.8%となっている。</p> 

外出の際の困りごと	 <p>■自分で自家用車やバイク、自転車を運転できるため、困ることはない ■家族や知人が送迎してくれるため、不便なときはあるが困ることはない ■タクシーや路線バス、コミュニティバスを利用しているが、困ることはない ■主にタクシーを利用するが、待ち時間や運賃等で困ることがある ■バス停や駅まで歩いていき、路線バス・コミュニティバスや鉄道を利用することはできるが、便数、運賃等で困ることがある ■自力での外出が困難であり、困っている ■無回答</p>
鉄道の利用状況	<p>○週に 1 日以上利用するは、6.8%であり、年に数回程度は、43.2%、利用しないは 22.7%である。</p> 
路線バスの利用状況	<p>○週に 1 日以上利用するは、0%であり、年に数回程度は、6.8%、利用しないは 84.1%である。</p> 
コミュニティバスの利用状況	<p>○利用しないは 65.9%であり、利用すると回答した中では、週に 1 日以上利用するは、0%であり、年に数回程度は、60.0%である。</p> 
効果的な利用促進策	<p>○「行きたい場所を通るバス路線の設定」「増便や運行時間帯の拡大」「町内全域における鉄道、路線バス、コミュニティバス等の乗継ぎのしやすさ」「駅やバス停の待合環境（ベンチ、屋根の設置等）の改善」が多く挙げられている。</p> 